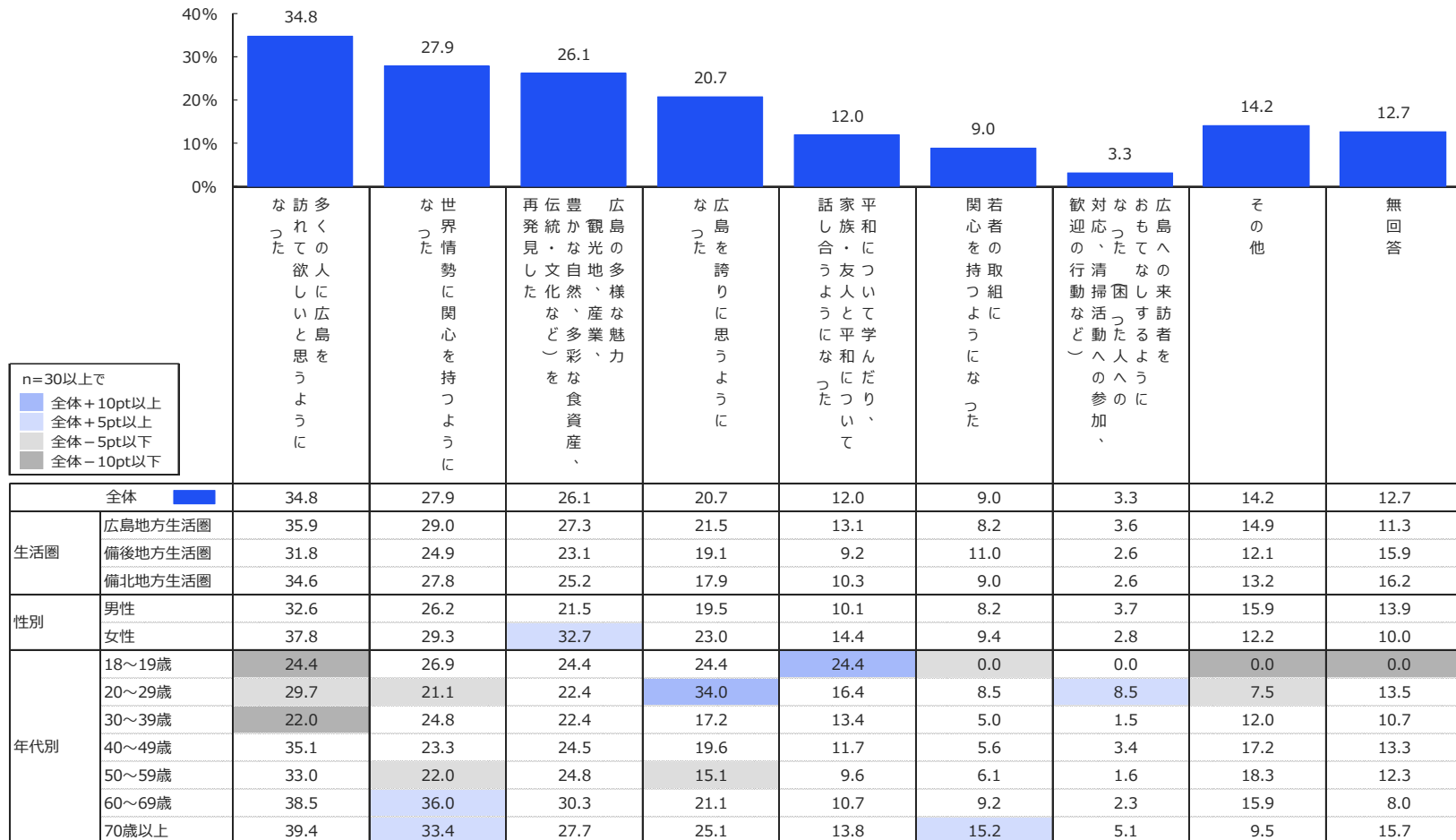


## G7広島サミットについて

## 9 行動・心境の変化

Q9 あなたは、G7広島サミット（以下「サミット」という。）の開催にともない、行動・心境に変化はありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（MA）

- 行動・心境の変化は、「多くの人に広島を訪れて欲しいと思うようになった」の割合が34.8%で最も高い。
- 生活圏別にみると、すべての生活圏で「多くの人に広島を訪れて欲しいと思うようになった」の割合が最も高い。
- 性別にみると、男性層で「広島への来訪者をおもてなしするようになった」の割合が女性層を0.9ポイント、女性層で「広島のかなんない魅力を再発見した」の割合が男性層を11.2ポイントそれぞれ上回っている。
- 年代別にみると、18～19歳で「平和について学んだり、家族・友人と平和について話し合うようになった」、20歳代で「広島を誇りに思うようになった」、60歳代、70歳以上で「世界情勢に関心を持つようになった」の割合が高い。

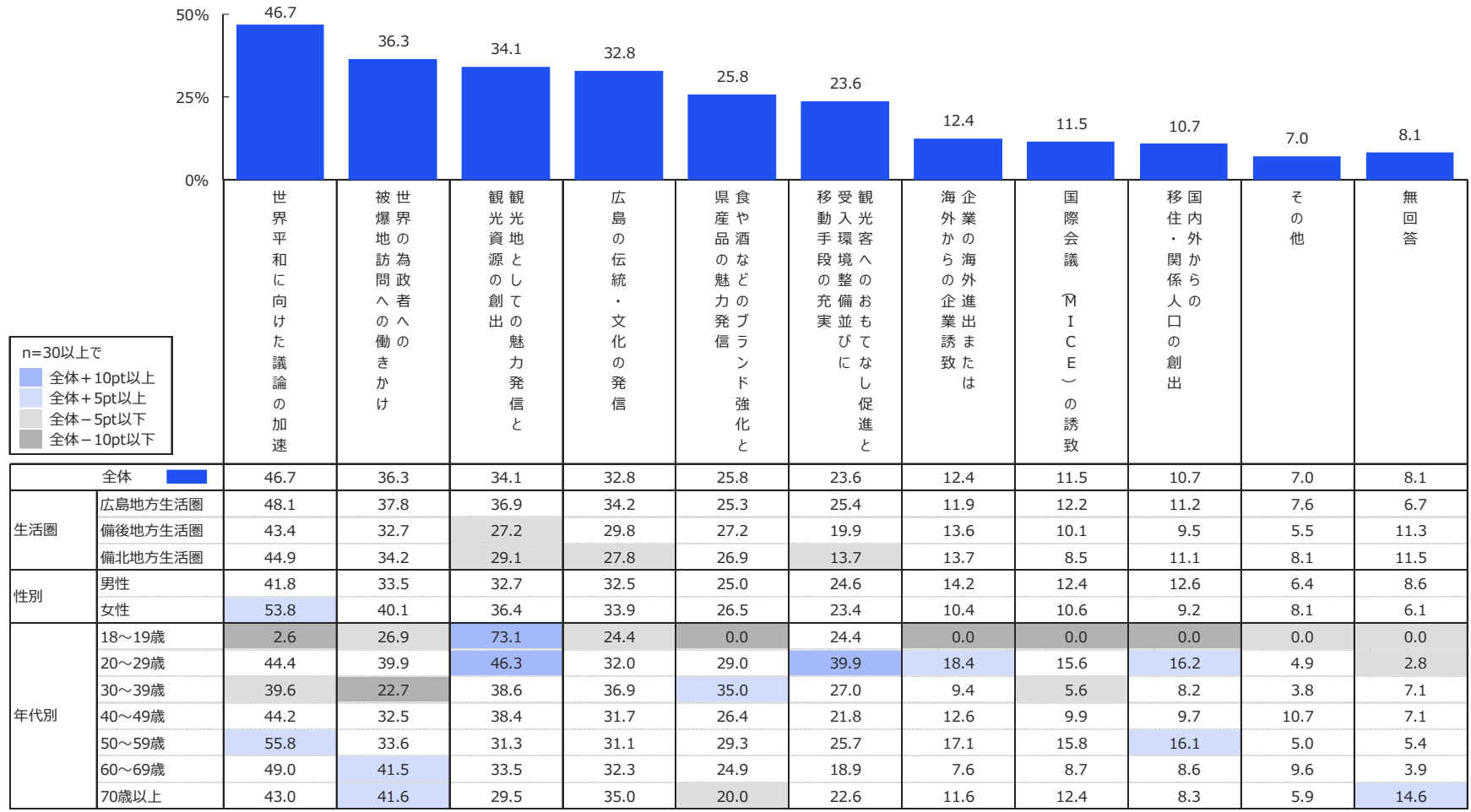


※全体の値を基準に降順並び替え

# 10 サミットの機会を逃さず取り組むべきもの

Q10 あなたは、サミットにより広島が世界から注目を集めた、この機会を逃さず取り組むべきと思うものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

- サミットの機会を逃さず取り組むべきものは、「世界平和に向けた議論の加速」の割合が46.7%で最も高い。
- 生活圏別にみると、すべての生活圏で「世界平和に向けた議論の加速」の割合が最も高い。
- 性別にみると、男性層で「企業の海外進出または海外からの企業誘致」の割合が女性層を3.8ポイント、女性層で「世界平和に向けた議論の加速」の割合が男性層を12.0ポイントそれぞれ上回っている。
- 年代別にみると、20歳代以下で「観光地としての魅力発信と観光資源の創出」、20歳代で「観光客へのおもてなし促進と受入環境整備並びに移動手段の充実」、60歳代、70歳以上で「世界の為政者への被爆地訪問への働きかけ」の割合が高い。

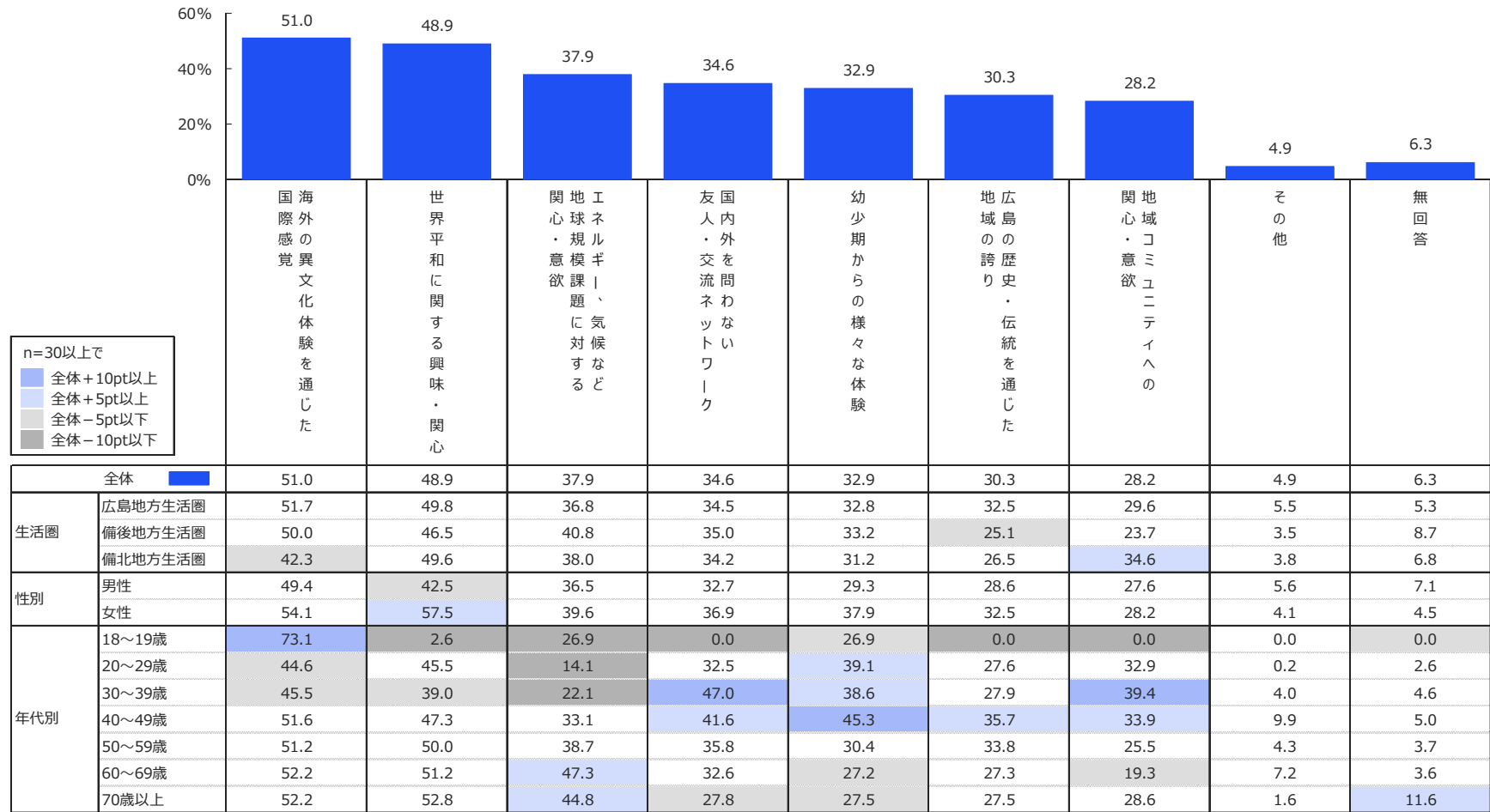


※全体の値を基準に降順並び替え

# 11 今後若者がチャレンジする上で必要なこと

Q11 サミットでは若者に、おもてなし・通訳ボランティア、ジュニアサミット、サミット塾、広報媒体へのデザイン制作など多くの取組に参加してもらいました。あなたが、今後、若者が様々なことにチャレンジする上で必要だと思われることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

- 今後若者がチャレンジする上で必要なことは、「海外の異文化体験を通じた国際感覚」の割合が51.0%で最も高い。
- 生活圏別にみると、備北地方生活圏で「海外の異文化体験を通じた国際感覚」の割合が他の生活圏と比べて低い。
- 性別にみると、女性層で「世界平和に関する興味・関心」の割合が男性層を15.0ポイント上回っている。
- 年代別にみると、18～19歳で「海外の異文化体験を通じた国際感覚」の割合が73.1%と、とりわけ高い。



※全体の値を基準に降順並び替え